

プラシノキ

建設情報誌

C-net通信

Vol.305

さが

『C-net通信』で

検索

2016年5月25日

発行所: (株) NSC

<http://www.nsci.co.jp>

■会員料金■

建設分野の成長戦略

全国の地場経営者らに

原社長が同社の取組み講義

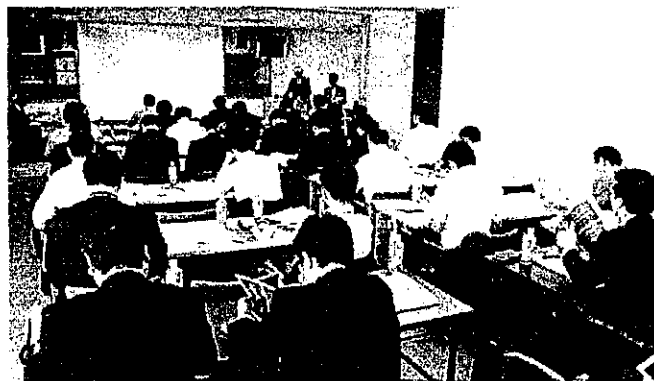
日本建設技術で研究会



原社長

全国の中堅地場建設企業の経営者らが17日、唐津市北波多の日本建設技術(株)を訪れ、原裕社長が同社の取組みを講義。環境資材である発泡廃ガラスのミラクルソル製造工場を見学した。経営コンサルタントの(株)タナベ経営(本社・大阪市)主催の建設ソリューション成長戦略研究会の一行で、研究マネジメントの方法や「寒冷地の長野県でもミラクルソルは使えるか」などの質問が出ていた。

ミラクルソル製造工場の見学



研究会の講義

一行は北海道から沖縄の土木、建築系の地場建設企業の経営幹部40人とタナベ経営の8人の計48人。タナベ経営の竹内建一郎・コンサルティング戦略本部副本部長が2016年度の建設投資予測や今後の研究会の日程等を説明。原社長が『ガラス廃材を活用した環境商材における開発・製造・販売を展開～商品開発戦略を通じた建設業における成長戦略～』の演題で、同社の取組みを話した。

原社長は、「経営戦略と研究マネジメント」について、

①マーケット検証②技術検証③ビジネスモデル検証—の3つの検証が事業化には必要とし、これらをスピードアップし効果的に行うことの大切さを強調。ミラクルソルを使った特許工法のFWG・透保水性舗装工法や水質浄化工法などを、夏場開催の2020年東京オリンピックに向けて国に採用を提案していることなどを説明した。

【5月18日HP掲載】